

製品名: Cdc37 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08514**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC37
別名	CDC37; CDC37A; Hsp90 co-chaperone Cdc37; Hsp90 chaperone protein kinase-targeting subunit; p50Cdc37
遺伝子 ID	11140.0
SwissProt ID	Q16543
免疫原	抗血清はヒト CDC37 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

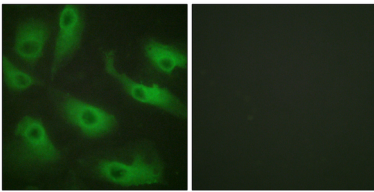
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、酵母（*Sacchomyces cerevisiae*）の細胞分裂周期制御タンパク質である Cdc 37 と

高い類似性を示す。このタンパク質は、細胞シグナル伝達において特異的な機能を持つ分子シャペロンである。CDK4、CDK6、SRC、RAF-1、MOK、eIF2 α キナーゼなど、様々なタンパク質キナーゼやHsp90と複合体を形成することが示されており、Hsp90を標的キナーゼへ誘導する上で重要な役割を果たすと考えられている。[RefSeq提供、2008年7月]機能: 多数のキナーゼに結合し、Hsp90複合体との相互作用を促進するコシャペロンとして、キナーゼの安定化と活性促進に寄与する。PTM: UBE2Iによって恒常的にSUMO化される。類似性: CDC37ファミリーに属する。サブユニット: Hsp90と複合体を形成する。AR、CDK4、CDK6、EIF2AK1、RB1と相互作用します。

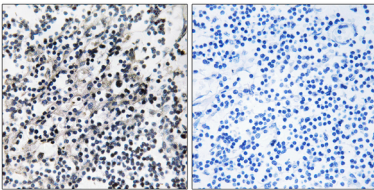
研究分野

PI3K/Akt

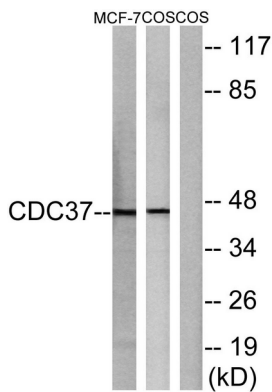
画像データ



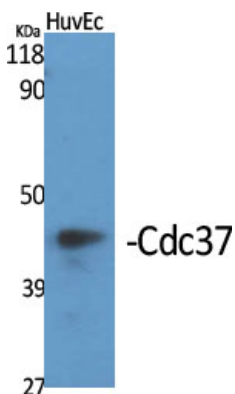
CDC37抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



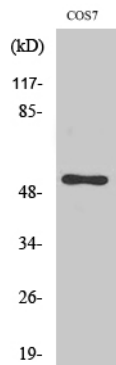
CDC37抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CDC37抗体を用いたMCF-7細胞およびCOS7細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Cdc37ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



Cdc37 ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット解析